

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟
平成29年度 第2回理事会

議事録

- 1 日時：平成29年12月3日（日）13：00－16：30
- 2 場所：日本財団ビル2階 会議室3・4
- 3 理事総数23名
出席者：猪谷会長、椎名副会長、古市副会長、山本専務理事、安藤常任理事、佐藤常任理事、志村常任理事、大久保常任理事、森常任理事、隅野常任理事、大日方理事、齋藤理事、下谷理事、鈴木理事、中村（勝）理事
書面表決者7名：岩間理事、小林理事、二星理事、山口理事、番場理事、新田理事、三澤理事、
- 4 欠席者：中村常務理事
- 5 監事出席者：大内監事
- 6 書記：谷口事務局次長
- 7 議事録署名人：猪谷会長 古市副会長 椎名副会長

- 8 定足数
山本専務理事より、理事総数23名うち、出席理事15名、書面表決者7名（欠席者1名）の合計22名の出席により定足数を満たし、本会が成立することが宣言された。

- 9 会長挨拶
猪谷会長より挨拶があった。まず、理事各位の本会出席について感謝の気持ちを述べられた。次に3月に控えた平昌大会について、大日方理事が正式に選手団長に決定したこと、また、(公財)日本障がい者スポーツ協会の理事に就任したことについて報告があった。また、平昌冬季競技大会チケットの売り上げ状況およびロシアのドーピング問題について、IOCは12月5日、IPCは12月19日に理事会を開催しその扱いについてより明らかになることについて説明があった。

- 10 審議事項

- (1) 次世代アスリート選考規程の改正案について (P02～07)

山本専務理事より、次世代アスリート選考規程の改正案について提案があった。

審議の結果、以下について訂正することとした。

ア 文章全体の英字及び数字について、半角に戻す。

- イ 第2条(3)中の「愛の手帳」を削除し「療育手帳等を所持していること。」に変更する。
- ウ 第2条(7)中の(遵守)を「順守」に変更する。
- エ 第2条に「(9)生活が自立していること。」を挿入する。

議長は次世代アスリート選考規程の改正案を諮り、全員異議なく承認可決された。

(2) 理事会運営規程について (P08~11)

山本専務理事より、理事会運営規程については、今後、再提案することとした。

(3) 平昌大会 J P C 推薦リストについて (資料なし)

山本専務理事より、平昌大会 J P C 推薦リストについて提案があった。過日のメダル獲得目標会議において、J P C より平昌大会推薦者リストに挙がる選手については、連盟強化指定選手であることが条件として示された。また、J P C の選手選考は1月22日に行われ発表の予定である。

- ア 各委員長は、12月15日までに山本専務に推薦者リストを提出する。
- イ 本理事会をもって、現在強化指定選手A指定の選手(定期総会資料参照)について、J P C に推薦することを内定する。
- ウ 委員長各位は、12月25日の記者会見において、連盟として推薦した旨の発表しても問題ないと J O C より承諾があった。
- エ 強化指定選手A指定は、第1次推薦内定者として報告するが、他の推薦者の選考については、常任理事会に一任せず理事会で諮ることとなった

議長は平昌大会 J P C 推薦名簿等に関する前項を諮り、全員異議なく承認可決された。

(4) サポーターズカップについて (P12~16)

椎名副会長より、議題名の変更(スポンサーカップの実施について)と資料(P12~16)の削除について報告され、スポンサーカップの実施について提案があった(別添資料参照)。

- ア スポンサーとの交流を目的とした大会を4月7日、8日で実施する。
- イ 会場は、グリーンピア津南で開催する。
- ウ 予算は、100万程度になる。詳細については後日、補正予算を提出する。
- エ 隅野常任理事を事業担当とする。

オ OB, OG等レジェンドの参加を検討する。

議長は、スポンサーカップの実施を諮り、全員異議なく承認可決された。

(5) 後援依頼等の流れについて (P18)

山本専務理事より、本年度後援依頼を受けている4つのイベントを後援することについて提案があった。なお、全国ろうあ者冬季体育大会については、4年に一度の開催であることと、連盟主催事業における後援依頼を参考までにP17を添付したことについて補足がなされた。

議長は後援依頼等の流れを諮り、全員異議なく承認可決された。

(6) 職員の処遇について (資料なし)

山本専務理事より、職員の処遇について提案があった。

ア 3名の常勤職員については一律月5,000円のアップ。

イ 非常勤職員については、一律時間50円のアップ。

ウ 一時金支払いが出来るよう就業規則に追記修正する。

議長は、職員の処遇を諮り、全員異議なく承認可決された。なお、局員との契約内容等について、早急に精査することとした。

(7) その他 ジャパンパラ大会開催について (資料なし)

山本専務理事より、本年度のジャパンパラ大会開催について提案があった。

ア 2月3日、4日、菅平でGSとSL種目を開催すること。

イ JPS役員派遣費については、予算を80万円程度になる。詳細については後日、補正予算を提出する。

議長はジャパンパラ大会開催を諮り、全員異議なく承認可決された。

(8) その他 パラノルディック強化スタッフの追加について (P19)

佐藤常任理事より、パラノルディック強化スタッフの追加について提案があった。現役大学生ながら新田のんの選手のサポートとして国外遠征にも帯同予定であることが補足された。

議長はパラノルディック強化スタッフの追加を諮り、全員異議なく承認可決された。

- (9) その他 全日本知的障がい者スポーツ協会への加盟について (P20～P23)
大久保常任理事より、全日本知的障がい者スポーツ協会の設立に伴う加盟については、本会では審議しないこととし、理由としては、現時、新団体の役割が明確でないことが補足された。

10 報告事項

- (1) 12月25日の記者会見について (P27)
森常任理事より、12月25日の記者会見当日のタイムテーブルについて報告があった。他に、表彰式の様子が数点SNS上に掲載されているもののチームスポンサーロゴがビブに隠れ見えないなどの事態が起きており、セレモニー後に改めて写真撮影を行うなど、連盟ウェア規程の必要性について報告がなされた。
- (2) 平昌大会に向けての周知について (P28～38)
山本専務理事より、平昌大会に向けての周知について、以下、報告がなされた。
- ア JPCが定める選手選考手順によると、提出文章(2ア)として推薦選手選考規程があり、連盟が定める推薦基準で代替可能かJPCに確認する。
 - イ JPC談として推薦選手は連盟強化指定選手の必要がある。指定外の選手の推薦の際は、基準を設け強化指定選手に追加する必要がある。
 - ウ 指定外選手推薦の際は、アンチ・ドーピング知識などについてアップデートの必要がある。
- (3) その他 障がい者スキー普及講習会について (P39～41)
志村常任理事より、障がい者スキー普及講習会について報告がなされた。参加要項や齋藤理事が講師をすることについて説明があった。
- (4) その他 平昌大会連盟ゲームウェアについて (回覧資料)
鈴川理事より、平昌大会における3競技ゲームウェア最終版について説明があった。ノルディックのゲームウェアを除き、既にIPCより事前承認があったことについて補足された。
- (5) その他 本年度会員について
齋藤理事より、本年度連盟会員数についてデータで示すよう要望があった
- (5) その他 配布資料及び議事録について
下谷理事より、理事会欠席者を含め、会議資料及び議事録についてPDF

などデータ送付するよう指摘があった。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名押印する。

平成29年12月6日

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟 理事会

議長 猪谷千春

議事録署名人 古市隆一

議事録署名人 椎名茂